



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として持続可能な社会構築の取り組み～

環境大臣 **伊藤 信太郎 殿**

2024年6月18日

ユニー株式会社
代表取締役社長

神原 健

「未来の子どもたちに美しい自然を残したい」

ユニー株式会社は、総合小売業として、環境マネジメントシステムを導入し、社会的責任を果たすことに力を入れています。
私たちは持続可能な社会を目指し、お客さまとともに地域に根ざした環境活動を推進します。

1

実効性のある環境マネジメントシステムを構築し、組織として環境活動の維持・向上を図ります。

- ・環境目標の明確な設定と、それを達成するための具体的な行動計画の策定を行います。
- ・環境目標に対する達成度を定期的に評価し、要素の特定と必要に応じて改善を実施します。
- ・環境目標達成に向けた取り組みの進捗状況を開示します。

2

循環型社会構築のため、廃棄物の発生抑制及びリサイクルを推進します。 排水については適切に処理し、汚染の予防に努めます。

- 店頭における継続的な啓発活動を通じて、お客さまとともに食品ロス削減を促進します。
〈具体的な取り組み〉
食品ロス削減を掲げた値引きシールの使用によるお客さまへの啓発
- 食品リサイクルを適正に実施し、食品循環資源の再生利用等を促進します。
 - ・食品リサイクルループの取り組みを推進し、2030年まで再生利用等実施率80%以上を維持します。
 - ・食品廃棄物の発生抑制の取り組みを推進し、2030年までに、売上(百万円)当たりの食品廃棄物発生量23kg以下を達成します。
- 地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題にもつながる使い捨てプラスチックの削減に努めます。
 - ・お客さまサービスで使用するプラスチックの使用量を、お客さまと連携し、2030年までに2019年対比で70%削減に努めます。
- ペットボトル・食品トレー・アルミ缶・紙パック等使用済み容器の店頭回収を推進し、再資源化を図ります。
 - ・店頭で回収したペットボトルを「ボトルtoボトル」水平リサイクルを実施します。
- 定期的に店舗の排水検査を行い、必要に応じて改善します。
〈具体的な取り組み〉
必要に応じた配管清掃の実施
グリストラップ使用・清掃方法の教育

3

持続可能な社会を構築するため、環境教育・啓発を実施します。

- 次世代を生きる子どもたちに対して、お買い物を通して持続可能な社会を実現するために、学び、考え、行動する環境学習の実施を推進します。
 - ・店舗見学、出張講座を通じて環境学習を実施し、年間5,000人以上の子どもたちに環境教育を実施します。
- 環境マネジメントシステムを用い、環境法令を遵守するとともに店舗でのエネルギーの効率的かつ持続的な使用・再生資源地域循環をめざし、自社の全従業員に環境教育を実施し環境意識醸成を図ります。
〈具体的な取り組み〉
社内学習システム「ユニーカレッジ」を活用した従業員教育

4

温室効果ガス排出量を削減し、脱炭素社会構築を推進します。

- 2050年までに店舗から排出するCO₂排出量(Scope1,2)を総量でゼロにします。
 - ・空調及び冷蔵・冷凍ケースの制御設備や照明の調光設備の導入、設定温度や点灯時間の適正化の徹底などにより、店舗運営にかかるエネルギー使用の効率化、エネルギー使用量の削減を行います。
 - ・太陽光発電など再生可能エネルギーの創出を行います。
 - ・非化石証書取引を活用した再生可能エネルギーへの置き換えを行います。
- 「気候関連財務情報開示タスクフォース(以下、TCFD)」に賛同し、TCFDの枠組みに基づいたシナリオ分析と開示を行います。
- Scope3を含む、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量の把握に努め情報の公開を行います。

5

お客さま・地域社会とともに、持続可能な社会(脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会)を構築します。

- お客さまとともに温室効果ガス排出量の削減を推進します。
 - ・容器包装等が環境配慮設計された商品やリサイクル素材の環境配慮型PB商品等の開発や提供を推進します。
- お客さまの行動変容により持続可能な社会を構築するために、行政や団体等と連携し店舗での企画・イベントを通じ、お客さまにエコライフスタイルを啓発します。

ユニー株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、
その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

